



# 森づくりサポーターニュース

令和4年（2022年）3月30日号

びわこ地球市民の森（森づくりセンター）

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312

メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

## 誕生から20年の森を考える！（4）

2001（平成（以下 H）13）年に誕生したびわこ地球市民の森（以下、森）は、今年度末で丸21年が過ぎます。森は、新野洲川の完成によって廃川となり平地化事業の行われた旧野洲川南流の一部を、かつての身近にあった「豊かな生態系の森」として復元することを目標に植樹し育樹をしてきました。

森は、つどい（H14 末）、ふれあい（H16 末）、出会い（H18 末）、里の森（H25 末）と植樹したゾーンから順に開設しました。河畔林だったふるさとゾーンは竹林として残し、遊歩道や四阿、デッキなどを整備して、H26 末に開設、H30 末に完成となりました。

植樹は2001年から2013年（H25）の13年間で約16万本を植え終わり、並行してサポーターやボランティアの皆様の手で生長に合わせた間伐（育樹）をして、既に6万本以下になっています。自然観察や間伐材を利用したクラフト制作等の環境学習（利活用）も当初から続けており、今後も皆様とともに続けてまいります。

森を周知することが目的の「びわこ地球市民の森のつどい」は、当初から13年間は植樹を主目的に、その後2019（令和元）年までの6年間は、ふれあいウォークや間伐体験、クラフト制作（利活用）を主目的に実施してきました。昨年度と今年度の2年間は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止しています。

2013年（H25）の大型遊具（冒険の森）設置、新森づくりセンター開設、2014年（H26）の指定管理者制度導入は、この森の転換期となりました。県直営の頃と比較して公園利用者が増え、サポーターの皆様の数もどんどん増えていきました。

4月から森は大きく転換します。国の都市公園法が変わり、公園内に営業施設を造って良いことになりました。来園者を増やすために、バーベキュー施設や森のカフェ店、自転車のレンタルショップ等を造っていきます。しかし、そのことが「豊かな生態系の森」をつくっていくことへの弊害となってしまうはいけません。私たちはこれからも、サポーターの皆様とともに「豊かな生態系の森」づくりを続けていきます。



里の森ゾーン（樹齢15年）からふれあいゾーン（北）（樹齢19年）を望む。（最初は左の大エノキだけだった）



ふれあいゾーン（樹齢19年）の森から里の森ゾーン方面（南）を観る。

## 「早春の森づくりサポーター活動」開催！

今年度最後の「森づくりサポーター活動」が、令和4年3月5日（土）、早春の光を浴びた穏やかな天候のもとに開催されました。

当日は、森づくりサポーター94名、ガールスカウト13名、計107名の皆さんが参加し、江見所長のあいさつと作業内容の説明のあと、森の中での活動が始まりました。

森づくりサポーターの皆さんは、出会いのゾーンにある守山市で一番高い山「モリモリ山」（標高99m）近くの間伐作業を行いました。

現地は平成19年（2007年）植栽地で、手入れ不足のため少し密の状態であり、また大きな木もあったことから伐採作業が大変でしたが、サポーターの皆さんは熱心に作業をされ、森は明るくなりました。



開会式の様子



出会いのゾーン「モリモリ山」近くでの間伐作業

一方、ガールスカウトの皆さんは、江見所長の指導のもと、自然観察ノートとルーペを持ち、水生植物や芽吹き始めた樹木、また地表に這って伸びる生命力豊かな植物や葉が落ちたあと枝に残る動物の顔に似た葉痕（ようこん）などをノートに記録し、森の自然に触れながら春の訪れを感じました。そして、森でとれたシイタケの原木に菌打ちをしました。



橋上から水生植物のヒメガマを観察



クヌギなど樹木の芽吹きを観察



しいたけの菌打ち

活動後は、全員お茶とおにぎりで疲れを癒しました。

新型コロナウイルスの影響でマスク着用の作業などいろいろと制限がある中、多くの皆さんが集い森の活動を予定どおり終えることができてありがとうございました。

来年度はコロナが終息し安心した活動ができることを願っています。

## びわこ地球市民の森で自然体験キャンプ（冬）

びわこ地球市民の森では、12月から1月にかけて「森のようちえんファミリー」、「ウインターキャンプ」、「お正月キャンプ」を開催しました。

「森のようちえんファミリー」は、12月11日（土）に、親子6組、15名が参加し、間伐体験とお菓子づくりを行いました。恒例となりました森の中の間伐体験では、親子が協力して切り倒した木を束にしー括りの木にしました。そこにみんなで作ったクリスマスリースやメッセージを書いた輪切りなどを飾りつけ、手作りのクリスマスツリーを完成しました。午後からは、スポンジケーキやクッキー、チョコレートなどを使い、家族ごとでお菓子の家を作り、おいしいおやつが出来上がりました。親子と一緒に活動する中で、コミュニケーションをとり、日頃見られない姿を感じるなど、有意義な一日でした。



森の間伐体験（森のようちえん）



クリスマスツリー（森のようちえん）



お菓子の家作り（森のようちえん）

また、小学生を対象としたキャンプでは、12月25日（土）から26日（日）に「ウインターキャンプ」（参加者32名）、1月8日（土）から9日（日）に「お正月キャンプ」（参加者26名）を実施しました。ともに異年齢集団での生活を設定し、自然体験や環境学習の中で「生きる力」を育むことを目的として行いました。写真と地図をヒントにポイントを探す「フォレストロゲイニング」や「宝探し」、ダッチオーブンで丸鶏ローストのクッキング、天体観測や夜の森探検などを体験しました。特に「お正月キャンプ」では、森づくりサポーター「はやの森探検隊」の皆様のご指導により、子ども達は交代しながら餅つきをしたり凧あげをして楽しみました。

3月最後のキャンプも、新型コロナウイルス対策をしっかり講じ、森を活用した自然体験を予定しています。



丸鶏クッキング（ウインターキャンプ）



餅つき体験（お正月キャンプ）



## 「萌芽再生」

間伐をすると切株が残ります。しばらくすると、切株から枝葉が出てきます。（「萌芽枝」）。

萌芽枝を2～3本残して間引き、株立ちとして育てます。

「せっかく間引いて減らしているのに、また増えるがな。」と言われそうですが、森は、樹がだんだん太くなって、クラフトに使える細い幹や、子ども達の間伐体験に手ごろな樹、伐っても息が切れない樹が少なくなってきました。

間伐が進んでいる場所はクラフト用に切りやすいセンダンや、シイタケの菌打ちができるクヌギやコナラなどは萌芽再生もしていきたいと思っています。



萌芽再生の様子



切株から萌芽したアラカシの新葉



萌芽して大きくなったクヌギの木



萌芽して大きくなったセンダンの木



## お知らせ



### ～びわこ地球市民の森のつどい 2022 について～

「びわこ地球市民の森のつどい」は、新型コロナウイルスの影響で2年連続中止となりましたが、令和4年度は感染防止対策を徹底し屋外を中心に秋期（10月頃）に開催を予定しています。

### ～令和4年度森づくりサポーター活動の計画～

|               |                   |
|---------------|-------------------|
| 令和4年 5月14日（土） | 植栽地の育樹活動と自然学習など   |
| 令和4年 7月23日（土） | 植樹地の育樹活動と自然学習など   |
| 令和4年 10月頃（未定） | びわこ地球市民の森のつどい2022 |
| 令和5年 3月 4日（土） | 植樹地の育樹活動と自然学習など   |



## 編集後記

今年度もコロナの影響でいろいろと制限がある中、サポーターの皆さんには森の健全な育成のため、様々な活動に熱心に取り組んでいただきありがとうございました。

最大のイベントである「森のつどい」は2年連続中止となりましたが、サポーター活動は3回開催でき、森も活気が出てきました。

来年度は、コロナも収まり、多くの皆さんが安心して集える活動ができることを願っています。

### 森のデータ

|                |          |
|----------------|----------|
| 森の面積           | 42.5ha   |
| 森の延長           | 3.2km    |
| 森の幅            | 100～200m |
| 植樹面積           | 80,808㎡  |
| 植樹期間           | H13～H25  |
| 植樹活動参加者数       | 44,994人  |
| 植樹本数           | 160,967本 |
| 森への利用者数（R2）    | 226,600人 |
| 森づくり活動参加者数（R2） | 2,744人   |
| うち育樹活動参加者数（R2） | 2,152人   |